

はじめに
ダイジェスト財務・非財務
ハイライト価値創造の歴史
価値創造プロセス社長メッセージ
CFOメッセージ中期経営計画の進捗
特集

マテリアリティ

コーポレート
ガバナンス安全・サービス
人づくり地域を元気に
ステークホルダーとの対話

環境

セグメント情報
財務情報会社概要
投資家情報

特集

JR九州グループのまちづくり
～アミュプラザみやざきの開発～

JR九州グループのまちづくりのコンセプト

「住みたい・働きたい・訪れたい」まちづくりを行う



開発コンセプト

駅のにぎわいを“まち”へ繋げる

このプロジェクトは商業・住居・オフィス等の開発による総合的なまちづくりであり、駅ビルを核として高架下の開発や駅前広場の整備等を当社・地元・行政の三位一体で取り組むことが特徴的です。

総合的なまちづくりにより、不動産事業のみならず鉄道をご利用されるお客さま等の増加による収益向上を見込んでいます。

駅で生まれたにぎわいは、中心市街地に繋がり、“まち”を元気にしていきます。



宮崎交通 (株) との共同開発

宮崎交通 (株) と連携して一体的な開発に取り組むことで、にぎわいがより大きくなると同時に、このにぎわいが宮崎駅前から“まち”へ広がり、より中心部とのつながりが強まることを目指しています。

また、宮崎の中心市街地が更に魅力的な“まち”となるよう、地元自治体・宮崎商工会議所等、地域の皆さまとも議論を進めてきました。



はじめに
ダイジェスト財務・非財務
ハイライト価値創造の歴史
価値創造プロセス社長メッセージ
CFOメッセージ中期経営計画の進捗
特集

マテリアリティ

コーポレート
ガバナンス安全・サービス
人づくり地域を元気に
ステークホルダーとの対話

環境

セグメント情報
財務情報会社概要
投資家情報

JR九州グループのまちづくり ～アミュプラザみやざきの開発～

商業コンセプト

“欲しかったが見つかる”場所

～買いたかった。味わいたかった。過ごしたかった…

これまでの“欲しかった”が満たされ、毎日が豊かになる、楽しくなる

これまで宮崎になかった新たな店舗の導入により新しいライフスタイルを提案するとともに、地元の名店にご出店いただき、宮崎らしさを感じることができる店舗構成となっています。

屋上には庭園・交通神社・展望デッキを備え、宮崎の魅力を感じることができ、訪れる方に憩い・癒し・寛ぎを提供します。また、上層階にはオフィスフロアも配置し、交通至便で“働きたくなる”場所をつくりま

Check アミュそら



56メートルの高さから360度「そら」が見渡せます

Check 交通神社



お客さまの旅の安全と列車（JR九州）とバス（宮崎交通）の運行の安全を願う神社です

Check アミュにわ



水と緑にあふれ、憩い、癒し、くつろげる「にわ」です



株式会社JR宮崎シティ
常務取締役

山崎 慎介

今回の開発では、生まれ変わった駅のにぎわいをまちなかへ繋げるため当社・地元・行政が三位一体となって取り組んできました。

今回の開発の大きな特徴は、地元企業である宮崎交通㈱との共同事業であることです。多くの関係者が考え方を共有することに時間をかけ、地域の皆さまの懐に飛び込み、腹を割ってとことん話し合うことで、それぞれの良さを掛け合わせた魅力あるまちづくりにしたいと考えています。

“アミュプラザみやざき”では、宮崎初出店の店舗や地元の名店、15年振りに中心市街地に復活するシネマコンプレックス等により、宮崎の方々の日常に様々な“欲しかった”をお届けします。また、にぎわいを繋げる仕掛けとして、西口駅前広場の再整備やグリーンスローモビリティ（小型電動バス）を導入していきます。

これまで以上に多くの方に宮崎駅を訪れていただき、更に中心市街地活性化の一助となれるよう、関係者との連携をより強め、引き続き開業に向けて取り組んでまいります。

駅前広場を活用したにぎわいの創出

宮崎県や宮崎市と連携して、宮崎駅西口の駅前広場再整備に取り組むと同時に、“まち”全体の活性化につながるようなイベント等が実施できる大屋根広場（アミュひろば）や歩きやすい歩行者等の空間をつくりま

駅周辺で創出したにぎわいが、中心市街地へ繋がり、“まち”全体でより大きなにぎわいを生むことを目指します。



MaaS実証実験

MaaSアプリを活用した公共交通の利便性向上と生活サービスとの連携を目指して、当社と宮崎交通などの交通事業者・各公共団体等と、2020年3月期にMaaS実証実験のための実行委員会を設立しました。

目的	MaaSアプリを活用した、公共交通ネットワークの利便性向上と利用促進、商業施設との連携による来店・来街・中心市街地の回遊性向上、国内外からの観光客向けコンテンツによる観光での利便性向上
実施期間	2020年度下期 本事業は、国土交通省の「日本版MaaS推進・支援事業」に選定され、MaaSのモデル構築に向けて、今秋より実証実験を開始予定です。
対象地域	宮崎県宮崎市・日南市及びその近郊
使用アプリ	「my route（マイルート）」

※「my route（マイルート）」：公共交通、自動車、自転車、徒歩等、様々な移動手段を組み合わせたルート検索ができ、予約・決済まで含め、移動をサポートするサービス。街中における「円滑な移動のサポート」や「街の賑わい創出」への貢献を目指す。

はじめに
ダイジェスト財務・非財務
ハイライト価値創造の歴史
価値創造プロセス社長メッセージ
CFOメッセージ中期経営計画の進捗
特集

マテリアリティ

コーポレート
ガバナンス安全・サービス
人づくり地域を元気に
ステークホルダーとの対話

環境

セグメント情報
財務情報会社概要
投資家情報**特集****JR九州グループのまちづくり**

～由布院のまちづくり～

コンセプトは「高原のリゾートエクスプレス」

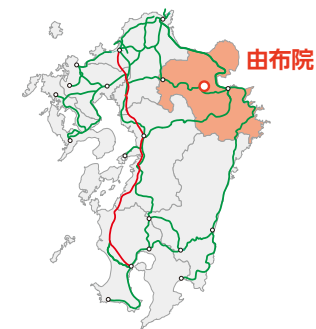
列車の企画にあたり、
由布院の皆さまと何度も意見交換を行いました。
由布院の目指していた、
緑ゆたかな滞在型温泉保養都市という
理想像を大切にしました。

由布院とJR九州のつながり

由布院とJR九州のつながりは、会社発足頃まで遡ります。当時、高速道路網の拡大などにより九州の観光は停滞しており、鉄道の需要減少への危機感からお客さまを増やす手立てとして「観光列車」が誕生しました。一方、由布院では、1970年代から映画祭や音楽祭など個性的なイベントを始め、地域づくりに動き出しました。

そして、1989年、由布院らしさを全面に取り入れた「ゆふいんの森」が運行開始しました。当時としては珍しいハイデッカー構造やビューフェ設備、客室乗務員による車内サービスなど、ハード・ソフト両面で画期的と言える列車でした。

「ゆふいんの森」は、地域を盛り上げる活動を行う由布院と、たくさんのお客さまを結び役割を果たしました。また、由布院の地域と一緒にやってつくった由布院駅は、人と人が出会う場となりました。

**地域を知り、地域に学ぶ**

「ゆふいんの森」に乗務するすべての客室乗務員は、実際に由布院を訪れ、由布院の街の魅力を自ら体感します。また、由布院の皆さまとの意見交換会における経験を、「ゆふいんの森」での情報提供やおもてなしにつなげています。

この取り組みは、後の「D&S (デザイン&ストーリー) 列車」、そして「ななつ星in九州」へと引き継がれています。



1990年12月新由布院駅舎オープン

鉄道は移動手段から観光資源へ

車内では、客室乗務員による沿線案内などの演出や特産品の販売が行われ、「ゆふいんの森」に乗った瞬間から、由布院観光がはじまります。

地域の魅力を体現した「ゆふいんの森」は、鉄道が単なる移動手段ではなく、観光資源となり、地域づくりへとつながることを物語っています。



客室乗務員による沿線案内

はじめに
ダイジェスト財務・非財務
ハイライト価値創造の歴史
価値創造プロセス社長メッセージ
CFOメッセージ中期経営計画の進捗
特集

マテリアリティ

コーポレート
ガバナンス安全・サービス
人づくり地域を元気に
ステークホルダーとの対話

環境

セグメント情報
財務情報会社概要
投資家情報

JR九州グループのまちづくり ～由布院のまちづくり～

地域のまちづくりへ

「ゆふいんの森」は「D&S列車」のさきがけとして、地域のデザインとストーリー（物語）を伝えてきました。これまで、地域と一緒に取り組みを続けてきた鉄道によって広がる地域の特性を活かしたまちづくりが、九州の魅力をつくり、九州のブランド価値を高め、「住みたい・働きたい・訪れたい九州」へとつながります。地域の「ストーリー」を大切にしたいコンセプトは、その後のJR九州の「D&S列車」の礎になっており、現在の「D&S列車」のネットワーク、そして九州が誇る「ななつ星in九州」へと受け継がれています。



Smile Again ひまわりの咲く駅で、逢いましょう

地域を元気に。そして、地域から元気を。

九州では、平成24年7月九州北部豪雨、平成28年熊本地震、平成29年7月九州北部豪雨と、度重なる自然災害に見舞われました。その度に、地域の皆さまと一緒にその困難を乗り越えてきました。

地域を元気にすること、地域の持続的な発展に貢献することはJR九州グループの使命です。同時に、地域からの信頼と地域の持続的な発展があるからこそ、JR九州グループの事業は成り立ち、成長することができます。

Check

Smile Again ひまわりの咲く駅で、逢いましょう

平成24年7月九州北部豪雨後、「ゆふいんの森」の運転再開に併せて、由布院駅では、約4,000本のひまわりとともに、地域の皆さまがお出迎えしました。

Check

ゆふいんから元気に! 九州

平成28年熊本地震発生後に、一日も早い復旧・復興を願い「元気に! 九州」のラッピングトレインを運行しました。また、「ゆふいんから元気に! 九州」として、由布院温泉観光協会スタッフや由布院駅社員が案内を行う、「由布院駅から始まるゆふいん散策」などを実施しました。

Check

久大本線ぜんぶつながるプロジェクト

平成29年7月九州北部豪雨で、久大本線の橋梁が流され不通となった際には、「ゆふいんの森」を約1年間、小倉・大分経由（迂回）で運行しました。

久大本線全線復旧に向けて「久大本線ぜんぶつながるプロジェクト」を始動し、久大本線の全線での運転再開、「ゆふいんの森」の運転再開を地域の皆さまとお祝いしました。

